

全国の整備相談所に寄せられた整備相談事例 Vol.108

【内容】 作業ミスの謝罪をしてほしい

・車名：乗用車 ・登録年月：平成24年 ・走行距離：不明

右側のブレーキランプが切れ、いつも車検を依頼しているカー用品店にバルブの交換に行ったところ、テールレンズ側のソケット差込部が一部溶けていると言われた。念のため左側も確認してもらったが、そちらは全く問題なかった。

今までバルブを交換したことはなく、もちろん点検の為にテールレンズやバルブを脱着したこともないが、5年前に自損事故を起こした際、販売店にて右リア周辺の钣金修理を行った。その際にバルブやテールレンズの脱着作業も行っていると思うので、その時の作業ミスが原因で発生したトラブルとしか考えられない。販売店にクレームを言いに行ったが、担当者は店側に非はないと言って対応してくれなかった。

今回の件に関して販売店に修理費用を請求するようなことはしないが、このような被害にあった自分に対して謝罪をしてほしい。

【対応】

一通りの話を聞いた後、販売店のサービス責任者に連絡を取り事実確認を行ったところ、トラブルの症状としては相談者の内容とほぼ一致した。ソケット差込部が溶けた原因としては、きちんと差し込まれていなかったバルブが振動等により接触不良となり、その結果、バルブがソケット差込部に接触して熱で溶けてしまったのではないかと saying いた。今となっては5年前にバルブの差し込み不足があったか確認のしようもないが、仮にきちんと差し込まれていなかったのであれば、もっと早く症状が現れるというのが一般的な見立てだろう。とはいえ、現状としては相談者が納得していないようなので、再度販売店から連絡して説明するということがであった。

相談者には販売店の見解を伝え、もう一度話し合ってもらいたいと助言したが、その後サービス責任者から「無事に解決した」という報告があった。解決に至った経緯を聞いてみたところ、「相談者が来訪してきた時に、担当者が現場判断で解決をしようとしていたことに不満を感じたようで、振興会を通じてクレームがサービス本部にまで上がり、会社としてこれに対応したことで、最終的に納得していただけた」とのことであった。

「運転席フロアマット」の正しい装着について

トヨタ自動車株式会社

納車時・サービス入庫時における運転席フロアマットの適正な装着や、お客様への注意喚起を十分実施いただいていることと存じますが、「不適切な運転席フロアマットの使用」による事故の発生を未然に防止するため、お客様に注意喚起を行っていただきたく、説明事項および運転席フロアマットの不適切な状態例をご案内申し上げます。







■対象車両

全車両

■お客様への説明事項

- ①純正品はもちろんのこと、市販品等の場合でも、車両に合った商品をお選びいただき、運転席フロアマットとアクセルペダルが干渉しない位置にフロアマットを固定クリップ等で確実に固定していただくよう、ご説明ください。
- ②掃除等により運転席フロアマットを取り外した場合は、再び装着する際、フロアマットとアクセルペダルが干渉しない位置にフロアマットを固定クリップ等で確実に固定していただくよう、ご説明ください。
- ③運転席フロアマットの重ね敷きは、絶対にしないよう、ご説明ください。
特に、汚れを気にした市販品のマット類の重ね敷きや、降雪期等のゴム製マットの重ね敷きは、絶対にしないよう、ご説明ください。
- ④上記をお守りいただかないと、フロアマットにアクセルペダルが引っ掛かり、車両が意図せぬ加速を起こしたり、フロアマットが丸まってペダルの下に入り込み、ブレーキペダルを踏み切れなくなるなどして、事故の原因になるおそれがあり危険であることをご説明ください。

<不適切な状態例>

<p>重ね敷き</p> 	<p>形があていない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アクセルペダルが干渉 ・アクセルペダルを覆う 	<p>ずれやすい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・固定クリップなし ・裏面に滑り止めなし 
<p>変形</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フロアマットが変形し 容易に元に戻らない 	<p>固定クリップ外れ/ロック忘れ</p> <div> <p>フック式の場合</p>  </div> <div> <p>ダイヤル式の場合 固定クリップ ロック忘れ</p>  </div>	

携帯メールを利用した情報配信サービスをご利用ください

現在振興会・商工組合からの情報は、会報とホームページで提供しておりますが、会員の皆様の携帯電話へメールで、研修・講習などの日程やその他お知らせを配信するサービスを開始しました。「受講を忘れていた」や「受講日を知らなかった」などを防げるサービスです。

お申し込みは、次のとおり簡単でスピーディーに登録できますので、是非ご利用下さい。

なお、ガラケー・スマートフォン、どちらでもご利用できます。

登録の手順

- ①携帯電話から下のQRコードを読み取るとメール作成画面に切り替わり、宛先に空メール用のメールアドレスが自動的に挿入されます。そのアドレスに空メールを送信します。
- ②本登録用アドレスが記載されたメールが返ってきますので、本登録用アドレスにアクセスし必要事項を入力して登録します。
- ③登録が完了しサーバーにリスト化され、登録完了メールが届きます。
登録完了メール以降、随時、携帯電話へ各種情報がメール配信されます。
(タイトルが表示されない機種もあります。)

※なお、メールが届かない場合は、携帯電話のメール受信設定等をご確認下さい。

(例：迷惑メールフィルター・メール拒否設定など)

配信情報の例

1. 整備主任者（法令）研修
2. 整備主任者（技術）研修
3. 検査員研修
4. 検査員教習
5. 技術講習所案内
6. 各種研修会（スキャンツール・ウインチ運転者・ハイブリッド・EV車整備）
7. ひき逃げ交通事故等の捜査に関する情報提供
8. 商工組合商品



2級自動車整備士

国家資格取得を目指しませんか。

入校選考のご案内

●入校選考日(後期)

令和3年3月2日(火)

○受付期間

令和3年1月15日(金)

～令和3年2月19日(金)

○合格発表

令和3年3月8日(月)

○応募資格

高等学校卒業者(見込み含む)でR03.4.1
現在の年齢が概ね35歳以下の方。

○募集人員

☆2級自動車整備士資格取得を目指す、

自動車整備科(2年間) 5名程度

※その他訓練科

☆第2種電気工事士資格が取得できる、

電気システム科(1年間) 10名程度
も募集しています。

○授業料等

項 目	区 分	普通課程
入校検定料	1回	2,200 円
入 校 料	1回	5,650 円
授 業 料	年間	118,800 円

○選考科目

摘要	一 般 入 校
試験科目	<ul style="list-style-type: none"> ○数 学 (高校1年程度までの内容を含む) ○国 語 (高校1年程度までの内容を含み、古文・漢文を除く) ○面接試験

※雇用保険受給対象者は、雇用保険の延長給付を受けられる場合があります。

詳しくは、最寄りのハローワークへご相談ください。

※一定の要件を満たせば、就学給付金・授業料減免制度を利用できます。

※このほか、教科書、作業服、資格取得経費等の自己負担があります。

※金額は、今後改定される場合もあります。



☆お問合せ先☆

山梨県立峡南高等技術専門校

〒400-0501

山梨県南巨摩郡富士川町青柳町3492

電話 0556-22-3171

FAX 0556-22-3172

E-mail kgisen-n@pref.yamanashi.lg.jp

入校選考試験関連の
詳細な情報については、
当校HPをご覧ください。



峡南技専

検索



検査予約キャンセル状況(12月分)

12月分のキャンセル多発事業場はありませんでした。ご協力ありがとうございます。
引き続き、予約の申し込みとキャンセルには、十分なご配慮をお願いします。

なお、予約情報を共有し安定した予約制度とするため、検査前日の18時以前に予約が取り消された件数を掲載しています。安定した予約制度となるため、確実な予約を行うようご協力下さい。

12月分のキャンセル件数は次のとおりです。

(台)

普通車	296
軽自動車	1,093
合 計	1,389

= 統 計 =

普通車・軽自動車継続検査件数

11月

	合 計	指 定					持ち込み				
		保適		OSS		指定割合(%)	認 証		ユーザ－		持込割合(%)
		件数	割合(%)	件数	割合(%)		件数	割合(%)	件数	割合(%)	
普通車	14,357	5,089	35.4%	5,269	36.7%	72.1%	3,121	21.7%	878	6.1%	27.9%
昨年同月	13,191	5,954	45.1%	3,440	26.1%	71.2%	2,986	22.6%	811	6.1%	28.8%
昨年同月増減	1,166	-865		1,829			135		67		
軽自動車	11,070	3,711	33.5%	2,918	26.4%	59.9%	3,540	32.0%	901	8.1%	40.1%
昨年同月	11,062	5,541	50.1%	907	8.2%	58.3%	3,672	33.2%	942	8.5%	41.7%
昨年同月増減	8	-1,830		2,011			-132		-41		
合 計	25,427	8,800	34.6%	8,187	32.2%	66.8%	6,661	26.2%	1,779	7.0%	33.2%
昨年同月	24,253	11,495	47.4%	4,347		65.3%	6,658	27.5%	1,753	7.2%	34.7%
昨年同月増減	1,174	-2,695		3,840			3		26		